



おおたの教育

今号の主な内容

- 1面 平成31年度教育予算
- 2面 読書学習司書、小・中学生駅伝結果
- 3面 特別支援教育の充実、家庭教育コラム
- 4面 教育実践功労者表彰、就学援助費

はねびょん©大田区

発行 / 大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

～意欲を育む学力向上の取組～

★中学3年生実用英語技能検定の実施 1,599万円

グローバル化に対応できる英語力を身に付け、積極的にコミュニケーションを取ろうとする意欲を育むため、区立中学3年生に対して、実用英語技能検定を公費負担で実施します。

理科教育推進拠点校の指定 126万円

清水窪小学校で取り組んでいるおおたサイエンススクールの研究成果を全区的に拡充するため、理科教育推進拠点校を新たに指定し、観察・実験を充実します。

(大森地区1校、蒲田地区1校、糀谷・羽田地区1校)



～学校施設の環境整備～

体育館暑さ対策の実施 2億3,216万円

区内小中学校体育館における暑さ対策として、大型冷風機を設置します。また、災害時避難所機能の向上を図るため、冷房設備を順次導入します。31年度は小学校4校に設置します。

トイレ洋便器化の推進 4,467万円

小中学校のトイレの便器を、和便器から洋便器へ計画的に整備します。

★少人数教室への電子黒板の整備 6,727万円

全小学校の少人数教室に普通教室と同様のスライドレール式電子黒板を整備します。

★計画的な校舎等の改築 29億5,790万円

大森第七中学校 完成イメージ図



良好な教育環境の確保とともに老朽化に対応するため、31年度は、新たに2校の改築に着手し、すでに設計や工事に取り組んでいる11校を含め、全13校の整備を進めます。
①志茂田小学校②志茂田中学校③大森第四小学校④大森第七中学校⑤入新井第一小学校⑥東調布第三小学校⑦赤松小学校⑧田園調布小学校⑨東調布中学校⑩矢口西小学校⑪安方中学校⑫馬込第三小学校⑬入新井第二小学校

平成31年度 教育予算

子どもたちの未来を創る力を育む学校づくり

3月14日に、大田区議会において平成31年度予算が議決されました。区一般会計予算の総額2,819億円のうち、教育関係予算は258億円です。



～図書館のICT環境整備～

★ICTタグシステムの導入 1億6,682万円

貸出・返却処理時間の短縮などの利用者の利便性向上を図るため、ICTタグを活用したシステムを計画的に導入します。31年度は準備段階として、全図書館の蔵書・資料にICTタグを貼付します。



～不登校対策のさらなる充実～

スクールカウンセラーの派遣日数増 9,794万円

不登校対策事業実施校に指定された中学校21校に対して、スクールカウンセラーの派遣を年間38日から年間76日に増やし、相談体制を充実します。

登校支援員及び中学校学級集団調査の継続実施 2,033万円

30年度にスタートした登校をためらいがちな子どもたちを送迎等で支援する登校支援員制度と、中学校での学級集団調査を31年度も継続して実施します。

～教員の長時間労働の解消～

中学校部活動指導員の充実 3,861万円



30年度に中学校10校に配置した部活動指導員(競技会の引率や日常の指導を単独で行うことができる)を、31年度は中学校20校に増やします。

事業名の前に★印が表記されているものは、「大田区実施計画」に掲げる計画事業です。

【問合せ】 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

※改元期日以降の元号表示が平成であるものについては、新元号に読み替えてください。

特集!! 読書学習司書

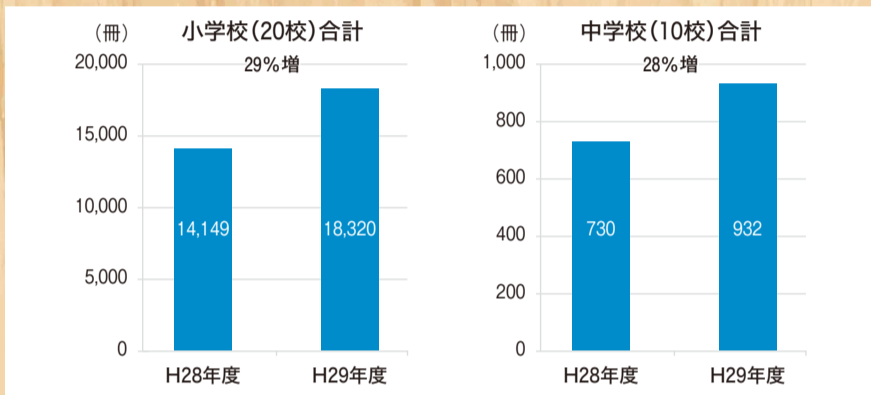
学校図書館は、児童・生徒の読書活動の拠点としての「読書センター」の役割、授業に役立つ資料を備え学習支援を行う「学習センター」の役割、そして情報活用能力を育む「情報センター」としての役割があります。児童・生徒の発達段階に沿った指導に、学校図書館を積極的に活用することがとても重要です。

学校図書館の専門的職務を担うため、大田区では、ほとんどの学校に司書教諭を配置していますが、学級担任等との兼務により、学校図書館活動に充てられる時間は限られています。

そこで、大田区では、司書教諭を補助し、学校図書館の管理運営とともに学校図書館を活用した教育活動の企画等を行う「読書学習司書」を、平成28年度から30年度までの間に、全区立小・中学校に配置しました。

読書学習司書の配置により、これまでよりも開館時間が増加し、推薦図書の展示等が充実しました。児童・生徒にとって利用しやすい図書館環境が整備され、貸出冊数も増加しました。また、読み聞かせ、ブックトーク等のイベント、授業や探究的な学習（調べ学習）への支援が行われ、図書資料を活用した読書教育がこれまで以上に充実しました。

▼平成28年度に読書学習司書を配置した学校（小学校20校、中学校10校）における1月当たりの平均貸出し数の合計



読書学習司書の主な役割

- ①発達段階に応じた読書教育が行えるよう司書教諭を補助
 - ★司書教諭と共に教員への働きかけ、図書の選定や学習を支援
- ②区立図書館及び、学校図書ボランティアと連携した、学校図書館の管理・運営
 - ★書架の整理・蔵書点検
 - ★読み聞かせや推薦図書展示等を実施
 - ★児童・生徒の探究的な学習（調べ学習）学習を支援



読書学習司書により整備された推薦図書コーナー



読書学習司書による授業支援の様子

問合先 指導課学校職員担当 TEL 5744-1424 FAX 5744-1665

第7回小学生駅伝大会・第10回中学生「東京駅伝」大会報告

〈第7回小学生駅伝大会〉



〈第10回中学生「東京駅伝」大会〉



女子選手



男子選手

平成30年12月2日（日）、東京都立つばさ総合高等学校校内特設周回コースにおいて、第7回小学生駅伝大会が開催されました。

区立小学校59校から、5・6年生の代表児童929名が参加し、各校の襷をつなぎ、全力で走る児童の姿が、多くの人に感動を与えました。

応援席や応援エリアでは、約3,500人の保護者や地域の方々が、力走する選手のすぐ近くで、選手に熱い声援を送っていました。小学校PTA連絡協議会の御協力により、大田区公式PRキャラクターのはねぴんも会場で応援し、大会を盛り上げました。

平成31年2月3日（日）、都内50地区の区市町村を代表する中学2年生が、アミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園特設周回コースを駆け抜けました。男子は、42.195kmを17名で、女子は30kmを16名で襷をつなぎました。

「大田区選抜チーム」は、男女総合第6位、女子の部第5位、男子の部第7位、男女共に敢闘賞（第4位から第10位までに授与）、特別賞（前年度までの最高記録を更新）を受賞し、大健闘しました。

結果は、以下のとおりです。

		〈団 体〉	
男女総合	第6位	4時間16分28秒	
女子の部	第5位	1時間53分34秒	敢闘賞、特別賞
男子の部	第7位	2時間22分54秒	敢闘賞、特別賞

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

大森第四小・志茂田小 新校舎が完成しました!

教育委員会では、「おおた未来プラン10年」「大田区実施計画」及び「おおた教育振興プラン2014」に基づき、年2校のペースで計画的な学校施設の改築に取り組んでいます。平成30年度には、改築工事を進めていた大森第四小学校と志茂田小学校の新校舎が完成しました。

大森第四小学校は、プールや校舎の一部を取り壊す工事などを経て、平成31年3月に新校舎がしゅん工しました。今後は、複合施設棟の建設や校庭整備などの工事を進めてまいります。

志茂田小学校は、隣接する志茂田中学校と一体的に工事を進め、平成29年3月の志茂田中学校の新校舎しゅん工に続き、平成31年3月に新校舎がしゅん工しました。今後は、校庭整備などの工事を進めてまいります。

今後も、子どもたちが安全に成長を育む場となるよう、教育環境の向上を目指した学校施設の改築事業を進めてまいります。



大森第四
小学校



志茂田
小学校

問合先 教育総務課施設担当
TEL 5744-1399 FAX 5744-1666

特別支援教育の充実に 取り組みます

特別支援学級の新設

区では、障がいのある児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、それに対応した適切な指導や支援を行うために、特別支援学級を設置しています。

近年、特別な支援が必要な児童・生徒が増加傾向にあることから、平成31年4月に知的障害の固定学級を小・中学校各1校に新設します。知的障害の固定学級は、小学校14校、中学校9校になります。

今後も、一人ひとりの児童・生徒に対して、きめ細かな指導を実施し、安心して学べる環境を整備していきます。

また、就学の相談は、随時受け付けています。教育センター就学相談(TEL 5748-1202)へ、お気軽にお問い合わせください。

○知的障害固定学級新設校 矢口西小学校、矢口中学校

中学校特別支援教室(サポートルーム) モデル事業の実施

担当教員が各校を巡回して指導することで、今まで通級指導学級で行ってきた特別な指導(学習上又は生活上の困難さを改善・克服する指導)を生徒が在籍校で受けられるようにするものです。平成33(2021)年度に中学校全校で実施する予定です。区ではこれに先立ち、平成31年4月から7校でモデル事業を実施します(小学校は平成28年度から全校で実施しています)。

○モデル校 大森第十・馬込・貝塚・田園調布・雪谷・大森第六・石川台中学校

問合先 学務課特別支援教育担当 TEL 5744-1440 FAX 5744-1536

家庭教育 コラム

折れない心(レジリエンス)を育てる

臨床心理士(大田区立教育センター教育相談員) 中村 暁子

子どもは、勉強や人間関係がうまくいかないと学校に行けなくなってしまうたり、家から出るのが怖くなってしまったりすることがあります。心が折れてしまい、なかなか気持ちを立て直すことが出来ないのです。

“レジリエンス”は「精神的回復力」と訳されます。「一時的に落ち込んでも立ち直る力」のことです。「心のしなやかさ」と言い換えられるかもしれません。嵐が来てもしななって折れない竹のように、しなやかで折れない心を育てることが大切なのです。

■親が子どもを信じること

レジリエンスの高い子は自己肯定感の高い子だと言われます。自己肯定感の高い子は、うまくいかないことがあっても、自分の力を信じて“次こそ出来る、また頑張ろう、”と思えます。子どもは自分で考え、行動することで自信をつけていきます。失敗しないように親が先回りをするのではなく、“自分の力できっと出来る、と信じて挑戦させてみる”ことが大切です。



■結果よりも頑張ったことを褒める

「ダメね」「また出来ないの?」などマイナスな言葉かけが多いと、子どもは「やっぱり私はダメなんだ」「僕にはどうせ出来ない」とマイナス思考になるばかりでなく、自信をもって挑戦することが出来なくなります。苦手なことや出来なかったことに注目せず、子どもが努力した姿に目を向け、頑張ったことを褒めましょう。お父さんやお母さんの「よく頑張ったね」の一言があると“次もまた頑張ろう、”と思えるのです。たとえ結果が振るわなくても、真剣に頑張った時には爽快感や達成感を感じているはずですよ。

■人に頼る力

レジリエンスの高い子は、人に頼ることが出来る子です。自分の力で成し遂げることも大切ですが、うまくいかない時に一人で抱え込まず、人の意見を聞いたり、苦手なことを手伝ってもらったりすると、心が折れてしまう前になんとか出来ることも多いものです。家族に相談したり、助けてもらったりした経験が土台となって、友達や先生、周囲の人にヘルプを出せるようになります。

■思春期の子どもには?

思春期は、子どもが親に反抗し、自分の価値観を新たに築き上げる時期です。子どもが親に反抗することは心理的な自立の第一歩であり、とても大切なことなのです。思春期の子どもには親の思いを一方的に押し付けるのではなく、子どもの主張に耳を傾けるとよいでしょう。親子で意見をぶつけ合うことは、子どもの考える力やコミュニケーション力を育てます。



問合先 教育総務課教育地域力推進担当 TEL 5744-1447 FAX 5744-1535

平成30年度大田区教育委員会 教育実践功労者表彰

教育委員会では、区の教育の発展に貢献し、その功績が顕著で優れた教育実践を行った教員を「教育実践功労者」としてその功績をたたえ毎年表彰しています。平成30年度は、5名の方が受賞されました。今後も大田区の教育のためにご尽力いただき、子どもたちの健やかな成長を支えていただきたいと思います。
 問合せ先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

おちあい てるみ
落合 照美 主幹教諭
 (糀谷中学校 体育)

中学校の教育現場で、生徒との関係に苦悩した時代もありました。しかし、大きく成長し輝いている生徒と同じ時間を共有し、ともに学べる環境で過ごせたことは、私の大きな財産になったと感じています。

授業の中で、授業に向かう姿勢を重視することやスポーツのルール・マナーを守ることを実践し、生徒の規範意識を高めることに貢献されました。また、創作ダンスの指導を通じて、生徒間に仲間意識や思いやりの心が醸成されることに寄与されました。さらに、教員間の協力体制を整え、教員が一人となり生徒を指導することで、生徒が規律のとれた学校生活を送る環境づくりに貢献されました。

受賞者のコメント(上段)、受賞理由(下段)を紹介いたします。



なて くみこ
名手 久美子 主任教諭
 (田園調布中学校 数学)

このような身に余る賞をいただき、大変光栄に存じます。これも偏に先生方、生徒達、保護者・地域の皆様のご支援の賜物で、心より感謝しております。今後も、子ども達の未来のため、皆様の役に立てるよう、微力ながら心を尽くして参る所存です。誠に有難うございました。

道徳教育の研究を進め、都・全国の道徳教育研究大会やJAXA宇宙教育シンポジウムで、研究の成果を発表されました。平成29年からは、大田区の道徳教育推進教師連絡協議会で講師を務め、大田区の道徳教育の発展に寄与されました。校内では、平成27年度から道徳教育推進教師・教務主任を担当し、道徳の教科化に向けた実践に力を発揮されました。

あさい まさこ
浅井 雅子 主任教諭
 (洗足池小学校 音楽)

『いつか子どもたちとすてきな演奏ができるようになりたい。』との思いで吹奏楽指導を続けてきました。これまで練習に休まず参加してくれた子どもたち・ご協力いただいた先生方・保護者の皆様に感謝しています。

課外クラブのスクールバンド活動を指導し、子どもたちの音楽に対する意欲の向上に寄与されました。開校65周年記念集会などの学校行事での演奏では、日頃の練習の成果を発揮。また、大田区教育研究会音楽部主催の管楽器・合唱合同演奏会でも、子どもたちに自信をもって演奏会に臨ませることで、高い評価を得られました。

やつしろ りょうこ
八城 良子 主任養護教諭
 (矢口東小学校)

子供達の笑顔に励まされ、様々な方々に支えられて40年…このような表彰をいただけますのは、周囲の方々のお力添えのおかげです。感謝の気持ちを忘れず、さらに努力していきたいと思えます。ありがとうございました。

大田区教育研究会養護教諭部会副部長や学校保健会役員などの役割を担い、区内の養護教諭に助言支援を行うことで、大田区の保健衛生事業の充実に貢献されました。校内では、工夫を凝らした保健指導を行い、子どもの健康に対する意識の向上に寄与されました。さらに、若手教員の育成にも取り組み、主に外部折衝能力の向上に貢献されました。

ともひろふみ
伴野 浩文 主幹教諭
 (貝塚中学校 理科)

「迷惑」ばかりかけてきた私がこのような賞をいただき光栄に思います。私が少しでも「成長」することができたとするならば、今まで出会ってきた人たちのおかげです。ありがとうございました。

東京都教育委員会の教育研究員(理科)を務められたことがあり、校内では理科教員のリーダーとして、授業の工夫や教材開発を推進し、生徒の学び意欲や学力の向上に貢献されました。また、学年主任・生活指導主任として、生徒に寄り添った指導や教職員への働きかけを行い、生徒が心身共に健康で前向きな姿勢になれる環境づくりに寄与されました。

給食費や学用品購入費の一部を援助します(就学援助)

対象

小・中学生のお子さんの保護者で、大田区にお住まいの方のうち、下記のいずれかに該当する方。

- ①生活保護を受けている(要保護認定者)
 - ②同一生計を営む世帯全員の平成30年中の所得の合計が認定基準所得金額に満たない(準要保護認定者)
- 《認定基準所得金額の目安》

世帯人数	2人	3人	4人	5人
認定基準所得	277万円	345万円	378万円	465万円
給与収入(参考)	414万円	498万円	540万円	648万円

※あくまでも目安です。家族の年齢構成等によって異なります。

援助内容

- 認定された場合は、下表の内容が受けられます。ただし、認定区分・学年及び申請月によって費目や支給額は異なります。

- 要保護認定者(生活保護受給者)については、網掛け部分は生活保護費から支給されるため就学援助での支給はありません。
- 就学援助は、認定された方に就学援助費を支給するものであり、給食費や教材費等の学校納付金が免除されるものではありません。

○給食費(国立・都立・私立学校は除く)	○学用品費
○新入学用品費	○体育実技費(購入者のみ)
○通学費(特別支援学級(固定)通学者のみ)	
○校外授業費	○移動教室参加費(参加者のみ)
○修学旅行参加費(参加者のみ)	○クラブ活動費(小学校4~6年生のみ)
○卒業アルバム費(購入者のみ)	○医療費(対象疾病のみ)

※新入学用品費について

新入学用品費は、入学前に支給を行っています。平成32年4月に中学校へ入学されるお子さんがいて、入学前に受給を希望される場合は、小学校6年生の時点で就学援助の申請を行ってください。

申請方法

4月上旬に学校から配布する「平成31年度就学援助受給希望調査書(申請書)」を期日までに学校へ提出してください。なお、大田区以外の区市町村立及び国立・都立・私立小中学校に通っている場合は、下記までお問い合わせください。

問合せ先 学務課学事係 TEL 55744-1429 FAX 5744-1536

表彰コーナー

平成30年度
 命の大切さを学ぶ
 教室作文コンクール

警察庁長官官房審議官賞
 大森第一中学校 森内 彩巴

教育委員会定例会の主な議題

- 平成30年第12回定例会 平成30年12月12日(水)開催
- 平成31年第1回定例会 平成31年1月23日(水)開催
- 平成31年第2回定例会 平成31年2月14日(木)開催
 - 大田区教育委員会非常勤職員に関する規則の一部を改正する規則
 - 大田区教育委員会非常勤職員の報酬の額に関する規則の一部を改正する規則
 - 平成29年度おおた教育振興プラン2014の事業実績と評価
 - (仮称)おおた教育ビジョン2019(素案)

問合せ先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

教育委員会定例会の開催予定日

- 日程 ①平成31年4月25日(木)②平成31年5月20日(月)③平成31年6月19日(水)
- 時間 ①午後3時から ②・③午後2時から
- 場所 蒲田5-37-1ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室

※予定が変更になる場合があります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記問合せ先へご確認ください。
 ※手話通訳・要約筆記・その他特別な配慮が必要な方は、開催日10日前までにご連絡ください。